

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月27日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104217		
法人名	オリエンタルシルバーホーム		
事業所名	トータルケアサポート花みずき		
所在地	松山市泉町23番地6	(電話) 089-915-3100	
管理者	志摩 しずか		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成21年3月11日	評価確定日	平成21年4月27日

【情報提供票より】 (平成21年2月23日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年7月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	14人, 非常勤 3人, 常勤換算 15.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成21年2月23日現在)			
利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	6 名	要介護2	0 名
要介護3	3 名	要介護4	8 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 52 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

建物内の併設有料老人ホームと合同で行う音楽会や夏祭り、お餅つき等に利用者も参加できるよう支援されている。調査訪問時、職場復帰を目指しておられる利用者の上司の方が来られ、管理者と今後のことについてお話しをされていた。
 介護計画は、定期的な見直しと、状態変化時には随時の見直しを行っておられる。月に1度、「日常生活の動作能力」や「サービスに対する利用者や家族の満足度」等をモニタリングされている。又、業務日誌には、利用者別に「ケアプラン実施状況」を記入し、介護計画の見直し時に反映できるよう工夫されている。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、「介護計画」の充実、「その人らしい暮らし」の支援等に、特に力を入れて取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、先ず管理者が原案を作り、それをもとにユニットリーダーとサブリーダーを中心に全ての職員で話し合い、管理者がまとめられた。管理者は、「日々のケアを振り返る良い機会となり、今後の指針となった。今後はさらに、個別ケアや家族会の充実、より良い職場環境作り等に取り組むたい」と話しておられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、会議は事業所が主体となって、併設の有料老人ホームと合同で実施されている。事業所から、活動状況等を報告し、出席者のご意見をうかがっている。事業所のクリスマスコンサートと重ねて会議を開催し、利用者や出席者の交流会を実施されたこともある。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族会を、1月に開催し、半数のご家族が出席された。その際にご家族から「いろいろと、もっと知りたい」とのご意見があり、毎月、診療時の報告書も送るようになされた。又、職員の利用者への言葉かけについてご注意があり、ミーティングで話し合い、改善に努められた。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近くのお寺の夏祭りや地域の地蔵祭りに、利用者や出かけた際には、近所の方が声を掛けて下さったり、散歩時には庭のお花を分けてくださることもある。事業所主催の夏祭りには、近隣の方も来て下さり楽しまれた。中学校の職場体験学習を受け入れておられ、利用者は、生徒達とゲームや食事等、楽しい時間を過ごされ、後日、生徒から手紙をもらった。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	トータルケアサポート花みずき
(ユニット名)	グループホーム花みずき2,3ユニット共通
記入者(管理者)	
氏名	志摩しずか
評価完了日	平成 21 年 2 月 25 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.理念に基づく運営</p>					
<p>1.理念と共有</p>					
1	1	<p>地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>(自己評価) 暖かい環境作りを行う為屋上での園芸などでより在宅に近い環境作りや、地方祭への参加等で地域の人とのふれあいを実施している。 グループホーム主催の夏祭りを開催し家族や近隣の方々の参加をお願いしています。 小学校の体験学習等を受け入れを実施している。</p> <p>(外部評価) 事業所では、「個別ケア」「暖かい環境作り」「自立支援」「充実した生活」を理念に掲げ、近隣の方達とのふれ合いを大切にしながら、利用者の日々の生活を支えておられる。</p>		<p>地域の幼稚園や小・中・高の園児学生のボランティアの誘致を希望。(学生のお話ボランティア等) 一般ボランティアを誘致しレクリエーションや趣味の会などを増やして行きたい。</p>
2	2	<p>理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 定期的にミーティングを行い、ケアプランの見直しや、生活リハビリを兼ね心身の機能維持や楽しみの持てるレクリエーションの工夫について話し合っている。</p> <p>(外部評価) 事業所の理念は、各ユニットの入り口に掲示されている。毎月のミーティング時にも管理者は、理念について職員に話しておられる。</p>		<p>職員のアンケート等で意見を聴き職場環境を改善しより良いケアが出来るようにしたい。</p>
3		<p>家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議を2か月に一度実施して家族・地域・松山市・松山市社協・事業所の意見交換を行っている。 ホーム主催の行事へ参加していただいたり、花みずき通信を郵送して生活の内容を見ていただいている。 家族会を開催し運営方針の説明や意見・希望をお聞きしている。</p>		<p>松山市や松山市社会福祉協議会の研修に参加する機会を増やしたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 朝夕の挨拶や回覧板の受け渡しなどで気軽にお話が出来ている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会長や民生員の方々から地域の年間行事等の情報を頂き参加している。秋祭りには神輿がホーム玄関口を休憩場所とし時間を取って交流してくれている。催事の寄付なども行い地域行事への協力をしている。ホーム主催の夏祭りへ招待して理解を得ている。 (外部評価) 町内会長の方は、頻繁に事業所に顔を出して下さり、町内行事等の情報を提供して下さっている。近くのお寺の夏祭りや地域の地蔵祭りに、利用者とかけた際には、近所の方が声を掛けて下さったり、散歩時には庭のお花を分けて下さることもある。事業所主催の夏祭りには、近隣の方も来て下さり楽しまれた。中学校の職場体験学習を受け入れておられ、利用者は、生徒達とゲームや食事等、楽しい時間を過ごされ、後日、生徒から手紙をもらった。		管理者は、「今後もさらに、近隣の幼稚園等とも交流を図り、利用者が子供たちと触れ合う機会を増やしていきたい」と話しておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 気軽に見学が出来るように、希望者には施設内を案内している。		高齢者の相談窓口である事を知ってもらう工夫をして行く。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎日の朝礼時に業務の報告を行い評価や改善を行っている月一度の運営会議・リーダーミーティング・職員ミーティングを実施して自己評価に取り組んでいる。外部評価は全員で取り組み意見交換を行っている。 (外部評価) 自己評価は、先ず管理者が原案を作り、それをもとにユニットリーダーとサブリーダーを中心に全ての職員で話し合い、管理者がまとめられた。管理者は、「日々のケアを振り返る良い機会となり、今後の指針となった。今後はさらに、個別ケアや家族会の充実、より良い職場環境作り等に取り組むたい」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、「介護計画」の充実、「その人らしい暮らし」の支援等に、特に力を入れて取り組まれた。		管理者は、さらに、事業所独自の自己評価を作成し、職員の意識やケアの質の向上につなげていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2か月に一度の運営推進会議は実施出来ている。運営推進会議は行事や利用者・家族の参加・意見交換会・運営方針の説明などいろいろな形で行えるようにしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>現在、会議は事業所が主体となって、併設の有料老人ホームと合同で実施されている。事業所から、活動状況等を報告し、出席者のご意見をうかがっている。事業所のクリスマスコンサートと重ねて会議を開催し、利用者と出席者の交流会を実施されたこともある。</p>		<p>地域の方のご事情もあるだろうが、町内会長を窓口に、地域のいろいろな立場の方の出席をいただけるような働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。又、多くの方に意見をいただき、ケアサービスにつなげていかれてほしい。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各種申請・苦情相談・事故報告・業務規程への質問等で随時、行き来や電話連絡を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。 介護認定の訪問調査や調査や生活福祉課の調査訪問があり協力している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者には、利用者の福祉面の支援について等、さまざまな相談に乗ってもらい、アドバイスをいただいている。運営推進会議時、利用者がより良く暮らせるための支援等について、助言をいただいた。又、市社協の方に来ていただき、入浴介助の研修をしていただいた。</p>		<p>さらに、管理者は、今後、市社協の担当者の方に「記録の仕方について」指導をお願いしたいと考えておられた。</p>
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>松山市や松山市社会福祉協議会のホームページやインターネットで制度についての勉強は行っている。 松山市の担当者から直接話を聞いている。 現在対象者は無いが、今後必要とされる場合は随時家族や本人と話し合い、支援出来るようにする。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者・看護師が全員の利用者に深く関心を持ち、身体的な異常や精神的な不穏の早期発見に努めるようにしている。 職員のストレスを改善できる様に随時声かけを行って精神的に安定出来るようにしている。 資料を回覧してスタッフにも虐待防止を呼びかけている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約内容の概要は事前調査時にあらかじめ説明し、利用者・家族が契約書をじっくりと講読した後再度説明を行い質問等のゆとりが出来るようにしている。 解約時にも納得のいくように説明し了解の上で行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情窓口を設けいつでも随時相談が出来るように入所時に説明をしている。 管理者は個別に話しかけを行い日常生活の中で意見を聞けるようにしている。 個別に担当者を配置し細かい事柄も気軽に相談できる様にしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 暮らしぶりの報告・健康状態・職員の移動は通信や訪問時の説明等で実施している。 金銭管理の報告は定期的には月一度家族へ収支報告書と領収書を郵送し了承を得ている。本人管理の利用者は本人手渡しとしている。その他に特別な報告が必要な場合は随時連絡を行っている。 家族会を開催して状況報告を行っている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時には、利用者の担当の職員が、個別のアルバムをお見せしながら、ご本人の健康状態や日々の暮らしぶりを報告されている。又、2ヶ月に1度、「花みずき通信」では行事時の写真等を載せ、様子を伝えておられる。ユニットの入り口に、職員の写真と名前を掲示し、職員は、ネームプレートを首に掛けていた。		管理者は、今後、ご家族の来訪時に、ご本人の「個別記録」を見ていただき、遠方のご家族にはコピーして送付することも考えておられた。次回の「花みずき通信」から、利用者別に、担当職員のコメントを載せることが決まっていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常の相談や意見は管理者が受け、改善の方法としては管理者・看護師・介護リーダーとのミーティングを随時実施して職員全員が取り組めるようにしている。 苦情相談窓口は内外にあることを入所時に重要事項説明書で明記し説明をしている。 個別に担当者を設置し担当者名を家族に報告している		家族会では積極的なご意見が伺えているので今後も実施していきたい。
			(外部評価) 家族会を、1月に開催し、半数のご家族が出席された。その際にご家族から「いろいろと、もっと知りたい」とのご意見があり、毎月、診療時の報告書も送るようになされた。又、職員の利用者への言葉かけについてご注意があり、ミーティングで話し合い、改善に努められた。		管理者は、今後、家族会を2ヶ月に1度開催し、事業所の取り組みをより深く知っていただきたいと考えておられる。さらに「多くのご家族から具体的なご意見や要望をうかがえるよう、アンケート等も実施し、働きかけていきたい」と話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 全体ミーティングやリーダーミーティングを定期的に行い意見を聞くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務に支障がないように安定的な人員の確保に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動は利用者の心身の状態に合わせ事前に説明了解を頂いている。(特に離職時) 2ユニットの間で合同参加の行事を行うなど日常的に利用者同士・職員全員との交流をすることで誰もが顔見知りの間柄を作るようにしている。		
			(外部評価) 先輩職員が新人職員をカバーし、リードする等されて、利用者へのダメージを抑えるよう気を付けておられる。		管理者は、さらなる職場環境の充実を目指しておられ、職員に意見を聞くアンケートを実施したいと考えられました。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 各種研修会に参加させレベルアップに努めている。 外部からの研修会(講師)を問題に合わせて誘致し質の向上に努めている。(福祉用具事業者・社会福祉協議会) 経験の深い職員が経験の浅い職員や新人に対しミーティングや技術の指導をしている。		今後も各種研修には積極的に参加出来るようにし質の向上に努めたい。
			(外部評価) 事業所では、外部研修の受講をすすめておられ、最近では、「福祉現場で役に立つ食事作り」「接遇について」「救命救急講習」等の研修に参加し、ミーティング時に報告、周知された。又、ユニット毎のリーダー、サブリーダーが中心となり、ミーティング時、日々のケアについて意見交換が行われている。		管理者、職員ともに、さらに内外の研修の機会を増やしたいと考えておられた。今後、職員個々のさらなるスキルアップから、貴事業所のケアサービスの質向上を目指してかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 愛媛県グループホーム協議会の相互研修に参加するなど勉強会を行っている。		近日中に松山市地域包括支援センターの協力で交流やネットワーク作りの予定がある。
			(外部評価) 地域の事業所との相互研修に、2名の職員が参加され、それぞれの事業所の取り組みを参考にされた。		管理者は、今後も地域の事業所との連携を図っていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の精神状態を観察し、随時意見を聴きながらストレスの早期解決が出来るようにしている。 年2回程度の懇親会を行いストレス解消に努めている。 職員間での懇親会を随時行っている。		定期的に職員のアンケート調査を行って行きたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は朝礼等で運営方針等も報告し、職員も事業内容が分かるように努力している。		個々に具体的な評価が出来る方法を考えたい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前調査の段階から本人のニーズを把握し、入所後も計画作成担当者・看護師・介護スタッフが連携し新たな生活に慣れるまでの不安や要望を傾聴しながら観察を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初回相談時より、現在の家族の負担部分と希望する事、将来の介護の内容など詳細の説明を行い、納得が出来るまで何度も話し合えるように配慮している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談の内容を分析し、グループホームのサービスが適当であるか受け入れが可能か判断し、可能な場合は複合サービス(福祉用具等)の必要性も考慮していく。不適當であると判断された場合は相談者の依頼があれば他のサービスや相談窓口の紹介を行っている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 相談の段階で本人を含めた見学で環境等を確かめて頂き必要と思われた場合は体験入所をしていただく。入居直後は家族の協力を得て不安が軽減出来るようにしている。		
			(外部評価) 入居前には、必ず、ご家族、ご本人にも見学いただくようにされている。病院からの入居の場合には、管理者と担当職員が病院にうかがい、お話しされている。一泊の体験入所をされる場合もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 外出や外食の行事も利用者と同じ体験をし職員も楽しみ充実感が持てるようにしている。 地方祭やクリスマス・餅つき等旧来の行事は経験者である利用者から学び共に作り上げている。		
			(外部評価) 職員は、利用者から料理の味付け等について教えていただいたり、ご自身の趣味や仕事のこと等を聞き、学ぶことも多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の心身の状況を随時報告しながら要望も聞き家族会や日々の来訪でコミュニケーションをとっている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事への参加をお願いして一緒に楽しんでいただいている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 家族との外出・外泊、知人の訪問などを家族の了解を得て受け入れている。 本人の能力に応じて電話利用も出来るようにしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 本人の意向をお聞きしたりレベルに合わせて隣の部屋同士の位置関係や食事やお茶の時間の座席を考慮して和やかな交流や関係が構築できる様に配慮している。 利用者間のパイプ役として関わり会話や交流を促している。 趣味や話題で共通点を見つけ交流出来るようにしている		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 出来ていない		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個別に担当者を配置しきめ細かい観察をし思いをくみ取れるようにしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々の言葉や表情から、思いや意向を汲み取れるよう努めておられる。利用者から得た新たな情報は、申し送りノートに書き留める等、全職員で共有されている。		管理者は、個別支援のさらなる充実を目指しておられる。今後も、利用者個々の思いや希望の把握に努め、日々の細やかな個別ケアにつなげていかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前の事前調査や医療機関・紹介事業所からの情報等で把握している。 面会時に家族や知人の方々と出来るだけお話をし情報を得るようにしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 看護師・計画作成担当者・介護リーダーが中心となり食事から生活リハビリまで日々の変化や現状把握をして各担当者に連携出来ている。 日誌・申し送り等を出来るだけ詳しくわかりやすく行っている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画にはサービス担当者会を開催しているが、日々話し合われている問題点を課題とし利用者本位の計画を作成している		
			(外部評価)		
			ご本人の思いを主体に、ご家族の希望をうかがい、職員の気付き等も採り入れ、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的介護計画の見直しは行っているが、心身に 変化があり福祉用具の利用等があった場合はその必要 性も含めて随時見直しを行っている。 毎月のモニタリングを行い必要と思われるときは随 時見直しを行っている。		
			(外部評価) 介護計画は、定期的な見直しと、状態変化時には随時の見 直しを行ってられる。月に1度、「日常生活の動作能力」や 「サービスに対する利用者と家族の満足度」等をモニタリン グされている。又、業務日誌には、利用者別に「ケアプラン 実施状況」を記入し、介護計画の見直し時に反映できるよう 工夫されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価) 毎日の個別記録とモニタリング、毎月のモニタリング を行い情報を共有している。又それを活かして介護計 画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価) 入所時、家族・本人の適応性について不安が大きい 時は体験入所の方法を取り入れている。 同ビル内の併設施設との合同行事・ボランティア受 け入れ、特殊浴槽を利用して重症者の入浴実施。		同施設内の大きな浴室の利用を定期的に行い、入浴剤 や生花などを利用したバラ湯・菖蒲湯・ゆず湯等の実 施を検討している。
			(外部評価) 建物内の併設有料老人ホームと合同で行う音楽会や夏 祭り、お餅つき等に利用者も参加できるよう支援され ている。調査訪問時、職場復帰を目指してられる利 用者の上司の方が来られ、管理者と今後のことについ てお話しをされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察や消防とは連携出来ており、特に防災訓練などの定期的開催に協力を得ている。 地域の行事参加は町内会長や民生委員の協力がある。 音楽や習字等のボランティアの協力を得ている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人・家族の要望や必要性が考えられた場合福祉用具の利用を行っている。 心身の状況に応じ医療的管理が必要となった時、又は本人・家族の要望で他機関の利用を希望された時は紹介や情報提供等の相談・支援を行っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現在までに対象者は無かったが今後必要な場合は連携出来る体制はある。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医や連携病院の選択は自由に出来るようにし、必要に応じ家族の協力を得ながら通院や往診で医療との連携を行っている。 (外部評価) 病院受診の際には、看護師資格を有する職員が同行し、支援されている。月に2回、協力医の往診がある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院を含め看護師を中心に連携が出来ている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 2名の看護師を交代に配置し24時間職員が相談出来、医療と連携が取れるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力病院を通じ詳細の相談が出来るようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時又は随時、医療的対応をどこまで希望するか、グループホームで終末期を迎えるにはどこまで受け入れが可能か等を、家族とは話し合いが行われており、医療機関とも話し合っている。 (外部評価) 入居時に、事業所の「看取りに関する指針」に基づき、説明をされている。その後も、状態変化に応じて、ご家族と繰り返し話し合われており、最期まで事業所で過ごしたいと望んでおられる利用者やご家族もある。		管理者は、「さらに、医療機関との連携を図り、ご家族の気持ちに寄り添いながら、終末期の支援に取り組んでいきたい」と話しておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 管理者・看護師を中心に医療との話し合いを日常的に行い介護員の意見も反映される様カンファレンスを行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) グループホームで生活していた状況の情報提供等を行い転居後も新たな生活に順応できるよう必要に応じて協力をして行く様にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>プライバシーの保護については定期的に職員の教育を行い、管理者が現場で様子観察を行い、言葉かけや対応に不適切な部分があれば即改善が出来るように指導している。本人・家族から訴えがあった場合は双方より事情を聴取し対処している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自己表現や自己決定が出来にくい利用者には担当者のみでなく、家族にも生活習慣や好き嫌いなどの情報や意見を聞き、看護師・リーダーも関わり思いが聴き取れるようにしています。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事に要する時間、入浴の時間、運動量、休憩の時間、就寝の時間、排泄など様々ですが、可能な限り本人のペースで行える様にしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>管理者は、「利用者一人ひとりのその人らしい暮らしを支えるために、個々のペースを尊重する」よう、日頃から職員に話しておられる。調査訪問時、屋上のプランターに咲く水仙を、職員と一緒に摘んでこられ、大切に飾っておられた方がうかがえた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理美容は希望により、家族が同行し外出で行う場合とグループホームへ理美容師が訪問して行う場合を選択してもらっています。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 花みずきは厨房で調理し配膳を各階で行うシステムですが、配膳を手伝ってもらう他、定期的に各階で行う調理日を設け利用者の希望する献立で皆が参加できる様にしている。 (外部評価) 併設の有料老人ホームで調理された食事が届くようになっている。職員1名のみが「検食」されているが、他の職員は、各自のお弁当を利用者と時間をずらして食べておられた。週に1度、各ユニットごとに利用者の希望に沿った「お楽しみ献立」の日を設け、利用者と職員で調理し、同じ食事を食べるようにされている。訪問調査日は「お楽しみ献立」の日であり、職員が利用者の味付けされたお汁を「～さんの味付けはおいしい」と声かけされていた。テレビは消して、音楽を流すようにされていた。食後、食器ふきに精を出されている利用者がおられた。		管理者は、利用者が「お楽しみ献立」の日を心待ちにしているの、週に2回に増やしたいと考えておられた。認知症対応型グループホームの食事支援という点から「食事を楽しむ」ことについてさらに工夫がでないか、法人内で話し合われたり、ご家族や外部者の意見を聞くような機会も設けてはどうだろうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の健康と医療的な管理を考慮の上で可能な限り実施しています。 おやつは週一回パン屋さんが訪問販売に来て各自で選べるようにしています。(その他のおやつはホームで準備しています)		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 夜間おむつ使用の人も本人の身体的負担を考慮しながら日中はトイレ誘導を行っている。 介助が必要な人も自分で行える行為を促して自立支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	入浴は看護・介護が協力し日々のバイタルチェックを行い、本人の希望も聞きながら実施している。	
			2日に1度、入浴できるよう支援し、日中には足浴もされている。介護度重度の方は、併設施設の特設浴槽を利用されている方もある。		事業所では、今後、利用者が併設施設の大浴場を利用できるよう、手すり等の設置を予定されていた。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	本人の身体的なレベルや生活習慣に合わせた休息が取れるよう個々の対応をしています。夜間は就寝時間も考慮しながら必要な時は医療と連携し良眠が出来るようにしています。	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	一人ひとりのレベルに応じて日常生活の中で家事の手伝いや趣味の時間が持てるように努めている。外出や外食の行事を定期的に行い気晴らしや楽しみの時間に行っている。	
			料理や洗濯物たたみ、お花の世話をされたり、新聞やカラオケ、塗り絵、折り紙を楽しむ方もおられる。又、ボランティアの方の指導のもと、習字をされたり、音楽や踊りを楽しむ機会も作っておられる。ホワイトボードに今日の献立を書いたり、毎月の行事予定表を書いてくださる方もいる。		管理者は「利用者とともに土いじりの楽しみを味わいたい」と話しておられた。利用者個々の持てる力をさらに引き出し、楽しみながら活動できるよう、今後も支援を上げていかれてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	近隣への買い物に行ったり出来る利用者は同行支援している。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			冬期は外出少ないが、温暖な季節は近隣への散歩や買い物、屋上での園芸など個々に支援しています。		
			(外部評価)		
			散歩や商店街まで買い物に出かけたり、屋上で外気にふれたり、日向ぼっこをされる方もいる。毎月、外出行事として、外食や四季折々の花巡り等を楽しまれている。		ご家族からも「外出の機会を増やして欲しい」との希望もあり、今後さらに個別の外出支援に取り組みたいと考えておられた。ご本人が行きたい場所に行けるような支援等もすすめていかれてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外出の行事を毎月行い家族も一緒に行けるよう連絡し実施している。		個別に行きたい所への外出の支援を行って行きたい (例 お墓参り 買い物 etc.)
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望や家族の希望がある人は電話の利用が出来るようにしています。手紙等も自由にやり取りは出来ます。		手紙を自分から出す事はなかったので今後は職員も協力して楽しみの一つにして行きたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や家族が承認している友人・知人についてはいつでも気軽に訪問していただくようにしている。家族は前もって連絡が可能な場合食事と一緒に取れるように手配している。食事やおやつを持って訪問される場合は他者に配慮し各自の部屋で食べて頂けるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本的に身体拘束をしないケアを実施している。本人に生命の危険性がある場合に限り医療と相談し、家族の了解も得て、時間や期間を制限して行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 実施出来ている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員全員の連携により実施出来ている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 家具・置物・飾り物等は危険を回避出来る配置を心がけている。居室には刃物は置かない事を原則とし、家族にも協力を得ている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 毎月のミーティングや日々主治医や看護師、介護リーダー等の指導を受けれるようにし事故防止に取り組んでいる。管理者は担当者に、利用者の特性を把握し危険を防止するように指導している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 話し合いは出来ているが全員の訓練には至っていない。 救命救急の訓練を受けている者がいる。		研修・訓練として定期的実施していきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て定期的に防災訓練を行っている。 施設独自の消防訓練は毎月行っている。 運営推進会議を通じて地域の人々の協力は要請しており町内会からも随時情報をいただき指導も受けている。 (外部評価) 建物内の併設施設と合同で、消防署の協力のもと定期的に避難訓練を実施されている。又、毎月、防災担当職員の指導で、事業所独自の訓練も行っておられる。 職員は、校区の防災講習会に出席されている。スプリンクラーも設置されている。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時やレベルの変化が起きている時には随時家族と対話しリスクの説明を行い、了承を得て自由な暮らしが出来るようにしている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 看護師が中心となり、日々のバイタルチェックや様子観察で異変の早期発見を行い速やかに医療への連携が行えるようにマニュアルを作成し実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護師は職員に個々の服薬について指導し、状態観察を行い主治医へ報告する。 内服控えやお薬手帳を見て職員も理解に努めている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分量のチェックや運動の状態、服薬の状態など加味して看護師と介護職員が情報を共有し改善策を考えるようにしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 実施出来ている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日に記録で食事や水分の管理が出来るようにしている。		
			(外部評価) おやつ時には、コーヒーやココア等、利用者個々の好みの飲み物を選んで飲めるようになっており、1日1000cc以上の水分確保に努めておられる。又、食事は、利用者個々に合わせて食べやすいよう、とろみを付けたり刻む等されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染予防のマニュアルがある。 食事の配膳や排泄後の手洗いや手指消毒を励行し清潔に努めている。 インフルエンザ感染の季節には外来者や職員はマスク着用を実施している。 肝炎・MRSA保持者の食器・衣類は消毒し洗濯物等も分けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>実施出来ている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関には緑や草花を置き明るいイメージを作っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>電車の音が多いため二枚ガラスで防音に配慮している。 広い窓で光が十分取り入れられるようにしている。 壁面の掲示物を工夫し明るい雰囲気作りをしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者のアイデアも採り入れ、手作りされた貼り絵のお雛様が居間の壁一面に貼られていた。又、習字や塗り絵等、利用者の作品が飾られていた。利用者がお世話されている窓辺のプランターには、いちごの花が咲いていた。</p>		<p>屋上の活用について、管理者は、さらに利用者にとって居心地よく過ごせる空間にしていきたいと考えておられた。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個室で自由に過ごせる場所がある。 リビングでカラオケやゲーム・お茶の時間や談話が出来る。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人・家族と相談し入居時や入居後も家具や飾り物等の工夫をしている。		
			(外部評価)		
			各居室にはナースコールが設置されていた。タンスやテレビ、冷蔵庫、電話等が置かれ、ぬいぐるみやご家族の写真、利用者の書かれた習字等が飾られていた。毎日のように来訪されるご家族もあり、居室で一緒に昼寝をされることもある。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			実施出来ている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			ベッドの位置や手すりの設置等がある。ベッドが危険な人は畳での生活が出来る。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			部屋の入口には個々の名前と部屋番号がしるされている。居室入口の暖簾の色柄を変え自分の部屋が認識でき易いようにしている。曲がり角にトイレの矢印を掲示している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには鉢植えを置き窓から水やりが出来るようにしている。屋上で園芸活動や催しが出来るようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	本人や家族からも意向をお聞きしながら支援を行っているが、本人の意思確認が困難な利用者は、スタッフが思いを予測してケアを行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	生活の中でケアを行いながら触れ合ったりコミュニケーションを取っているが近年ケアに時間がかかる利用者が増えている為、ゆったりと過ごす時間を確保するのが難しくなったが努力している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の意向を優先して、無理強いはしないようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全てに意思確認は難しいが声かけやケアに対しては返答や笑顔が見られている。職員とのコミュニケーションは良好である。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	冬季・酷暑期を除いてはほぼ希望が聞けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活では看護・介護職員が健康の管理を行い、定期的な受診で医療的管理も出来ている。 安全面も配慮出来ている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ケアプランに沿って個別にケアが出来ている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	管理者・看護師・担当の介護職員がそれぞれの役割で相談に乗っており、随時解決出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族・知人の訪問は多い。地域の人たちの訪問は主にボランティアとして来てもらっているが、回数は少ない。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域のお祭りへの参加や事業所主催の行事への参加依頼で少しずつわかってもらえた。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	労働内容は決して楽ではないが、チームワークが取れていて、お互い思いやりを持ちながら仕事が出来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	認知症により意思確認が出来ない人や自我が強く思い通りにならない人以外は出来ていると思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	苦情や希望は随時解決しており出来ていると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

自立支援が基本ですが、本人が嫌なことは無理強いしないで、生活の中でのリハビリを自主的に出来る環境作りを心がけます。
暖かい家庭をイメージした環境作りをし、その中で時々外出や外食を楽しんだりスタッフと談笑したりとあくまで自然で普通の毎日が送れるようにしています。
毎日の健康管理(バイタル・水分食事確保・排泄観察などの記録)を重視し定期的な通院や月2回・協力病院の往診があり異常の早期発見を行える様になっています。
個々の身体状況に応じた生活の中でのリハビリを行っています。(お菓子作り・TV体操・食器の片付け・配膳・洗濯干しや片付け・散歩等々)
一日一回は入所者とスタッフが談笑やお茶の時間を取っています。
マッサージや足浴で気分転換や血流の改善痛みの緩和などが出来るようにしています。
過剰な介護とならないように出来る限り自立していただき、家事や共同の作業レクリエーション等でそれぞれが活躍できる場が提供できるように努めています。
音楽やお習字他ボランティアの誘致で気分転換や趣味の時間が持てるようにしています。